

3-1-7 対称性

準備

$\forall x \in N_{01}(N_{01}); \forall a \in \mathbb{R}; \forall b \in \mathbb{R}; \forall \alpha \in \mathbb{R}_+; \forall \beta \in \mathbb{R};$

$T_6(P_1, \dots, P_n; G; S, U, W, I, J)$ に以下の追加・変更を施して出来上がった理論を $T_6(P_1, \dots, P_n; G'; S, U, W, I, J; x, a, b)$ と名付けることにする。

追加点: 22と23の間に以下の文を挿入する。

『 $S^{\wedge}, U^{\wedge}, W^{\wedge}$ を次式で定義する。 $(S^{\wedge}$ は時空座標系であり、 $S = S^{\wedge}x$) and

[U^{\wedge} は電磁座標系網であり、 $\forall \xi \in N_{01}$;

$U(S(\xi)) = U^{\wedge}(S(\xi)) \circ V_3(\xi, x, a)$] and [W^{\wedge} は重力座標系網であり、

$\forall \xi \in N_{01}; W(S(\xi)) = W^{\wedge}(S(\xi)) \circ V_{05}(\xi, x)$ 】』

変更点: 23 $\forall \xi' \in N_{01}; \forall P'$: 時空点; $P' = S^{\wedge}(\xi')$ \Rightarrow

[ξ' (4) を P' の時刻と呼び、 ξ' (3) を P' の空間座標と呼ぶこと] する

34 $\{h_4(P_1, \dots, P_n; f'; S^{\wedge}, U^{\wedge}) | f' \in F_{4, n}\}$ の元を自然の可変的な部分の歴史と呼ぶこととする。36 $h_0(P_1, \dots, P_n; S^{\wedge})$ and $h_5(G'; S^{\wedge}, W^{\wedge})$ を自然の固定的な部分の歴史または環境条件と呼ぶこととする。

41 M を次式で定義する。 $M \in \mathcal{H}(\mathcal{F})$ and [$\forall f' \in \mathcal{F}; M(f') = h_4(P_1, \dots, P_n; f'; S^{\wedge}, U^{\wedge})$] 42 空欄。43 空欄。

44 $\forall f' \in \mathcal{F}; [\mathcal{L}(f')]$ によって次の文を表すこととする。

$\exists f \in F_{4, n}; \exists G \in F_5; f' = [V_{4, n}(x, a, 1)](f)$ and
 $G' = [V_5(x, b)](G)$ and $e_6(f, G, \mu(P_1, \dots, P_n; I, J))$]

45 空欄。